

襲ノ色目(かせねのいらぬ)

所要時間:30分程度 プレイ人数:3~4人 対象年齢:10歳以上

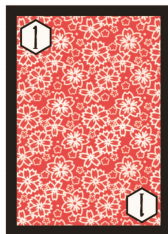
ゲームデザイン:折口 日向 イラスト:舟岡

物語

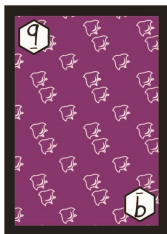
今年も宮中では華やかな行事が催されるようです。宮中の着物という着物を並べ、選んだ物を重ねて着飾り、1番綺麗な十二単を着ることのできた者には褒美が与えられるとのこと。最も美しく、雅な十二単を纏うことができるのは、一体誰なのでしょう。

内容物

①着物カード…52枚(1~9…各5枚、+1…7枚 以降「カード」と表記します)



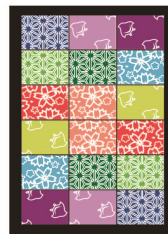
着物カード1



着物カード9

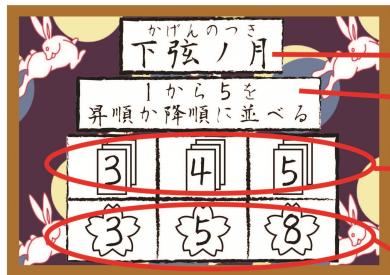


+1カード



カード裏面

②役カード…9枚(9種類 各1枚ずつ。最後のページに役カードの一覧と補足があります)



役の名前

役の達成条件

得点するための枚数条件 (達成条件を満たしてカードを何枚並べるか)
なお、下図のように数字とカードの外枠の枚数は、必ずしも一致しません

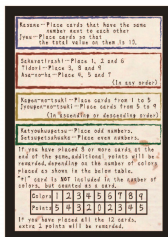


上の枚数を達成したときに得点できる点数
左のカードの役の場合、3枚並べれば3点、4枚なら5点、5枚なら8点

③概要カード…4枚



表 日本語



裏 英語

④得点用カード…4枚(表が0～4、裏が5～9のカードと、表が10～14、裏が15～19のカードの2種類 各2枚ずつ)



表



裏



表



裏

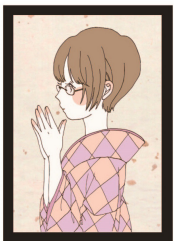
⑤イラストカード…4枚(両面印刷で2種類 各2枚ずつ)



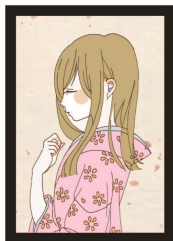
表



裏



表



裏

⑥おはじき…20個

⑦得点カウンター…4個

⑧スタートプレイヤーマーカー…1個

⑨説明書(あなたが今読んでいます！)…1部

ゲームの概要

手番では共通の場からカードを1枚獲得し、手札の中で役が完成したら自分の場に並べ、得点します。ただし、手札の順番を変えることはできず、さらに誰かが達成してしまった役と全く同じ枚数の物は達成することができません。4人プレイなら4ラウンド、3人プレイなら3ラウンドを通して全員が12回の手番を行うとゲームは終了し、最終得点計算の結果、1番得点が多かったプレイヤーの勝利です。

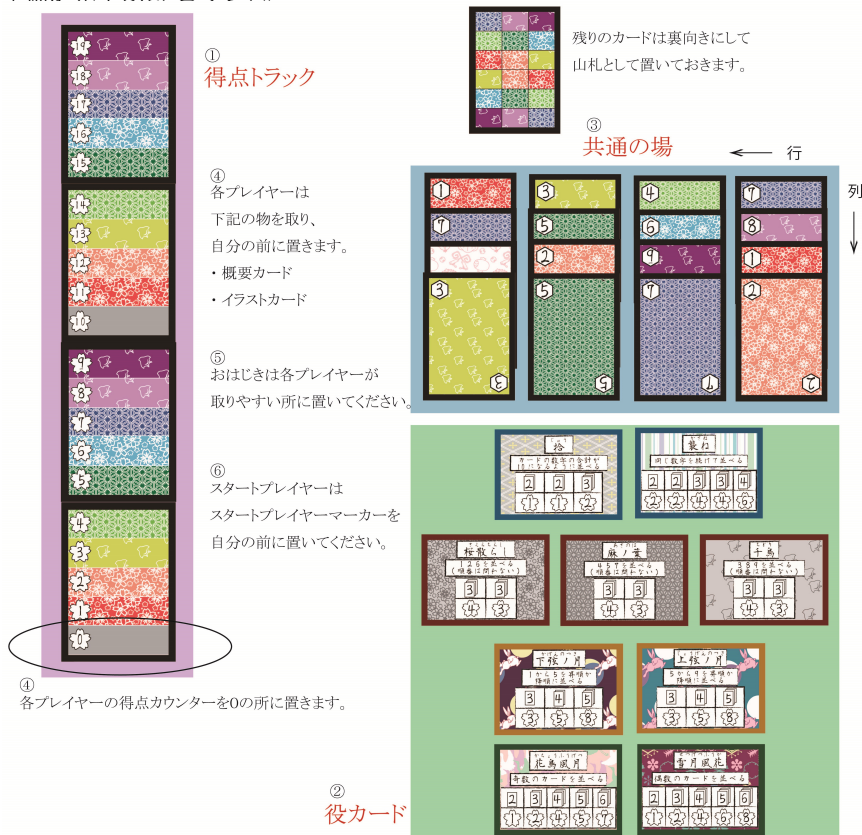
ゲームの流れ

スタートプレイヤーから時計回りの順番で自分の手番を行います。スタートプレイヤーは1番最近、帯を締めた人です。もしくはジャンケンなど適当な方法で決めてください。

ゲームの準備

- ① 得点用カードを0から19まで数字が繋がるように1列に並べます。これを得点トラックと呼びます。
 - ② 役カードをプレイヤーが見やすいように並べます。同色の枠の役は横に並べ、概要カードと同じ順番に並べると良いでしょう。
 - ③ 4人プレイの場合は全てのカードを裏向きにしてよく混ぜ、山札を作ります。
3人プレイの場合は1~9のカードをそれぞれ1枚ずつ、+1のカードを2枚ゲームから取り除いてください。
 - 4人プレイの場合、山札からカードを表にして4行4列に並べます。どんなカードが並んでいるのか分かるように、少しずつずらしながら並べてください。3人プレイの場合は、3行5列に並べてください(行はプレイヤー人数分できます)。これを共通の場と呼びます。
 - ④ 各プレイヤーは概要カードと、好きなイラストカードと得点カウンターを取ります。概要カードとイラストカード(好きな面を使ってください)は自分の前に、得点カウンターは得点トラックの「0」の所に置いてください。イラストカードより手前を、自分の場と呼びます。
 - ⑤ おはじきは各プレイヤーの手の届く所にまとめて置いてください。
 - ⑥ スタートプレイヤーは、スタートプレイヤーマーカーを自分の場に置いてください。
- ・残りの物は今回のゲームには使いませんので、箱に戻してください(3人プレイの場合のみ)。

下図は4人プレイ時の準備が完了したところです。



手番の流れ

1. カードの獲得(必須)
 2. 役の達成及び得点計算(達成可能かつプレイヤーが望む場合のみ)
- 上記の処理が完了すると、次のプレイヤーに手番が移ります。

手番の詳細

1. カードの獲得

手番では必ず、共通の場の各行(横列)の、1番上のカードのどれかを獲得し、手札の1番上に加えなければいけません。

【重要】手札の順番を変えてはいけません。新しく獲得したカードは順次手札の1番上に加えていきます。また、手札は非公開です。

ただし、+1カードだけは、獲得しても手札に加えず、後述する役の達成時と同じように、そのまま自分の場の1番上にくるように並べ、即座に1点を獲得し、その分だけ得点トラック上の自分の得点カウンターを進めます。なお、+1カードを獲得した手番は、役を達成することができません。

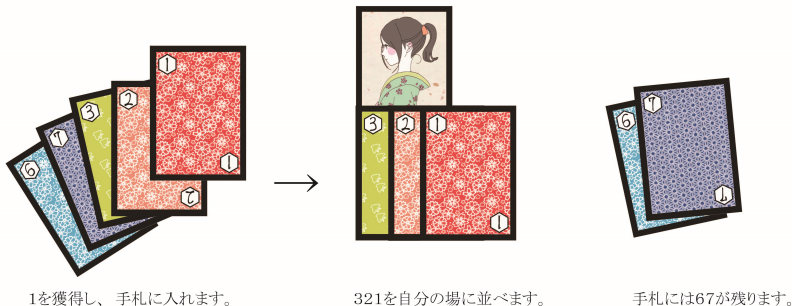
2. 役の達成

カードを獲得した後で達成可能な役がある場合は、手札から必要なカードを出して自分の場に並べて役を達成し、得点トラックの自分の得点カウンターを進めて得点することができます。ただし、それには下記の条件を満たしていなければいけません。

- 手札は「上から」出さなければいけません。手札の真ん中や下の方だけを抜き出すことはできません。(必然的に、今回の手番で獲得したカードも使うことになります)
- 手札の中での順番を崩さずに、自分の場に並べます。少しずつ重ねて並べ、手札の中で上にあったカードがそのまま自分の場でも上にくるように並べてください。(イラストカードに少しかかるように並べていくことで、より雰囲気が増すことでしょう！)

得点したあとで、今回達成した役カードの枚数のマスに、おはじきを置きます。おはじきが置かれた所は、もう達成することはできません(おはじきが置かれている役でも、他の枚数のマスが空いていれば、以降の手番で達成することは可能です)。なお、プレイ中におはじきが足りなくなることがありましたら、何か他のもので代用してください。

例) Aさんは手札に6732(2が1番上です)のカードを持っています。この手番で1のカードを獲得したので、1を1番上に入れて、手札の順番は67321となります。そして、手札の321をそのままの順番で出し「下弦ノ月」(1~5を昇順か降順に並べる役)の3枚を達成し、3点を獲得しました。自分の場には、左から321と並べます(カードは少しずつ重ねて並べ、手札の中で1番上にあった1が、自分の場でも1番上にくるようにします)。手札には67が残ります。

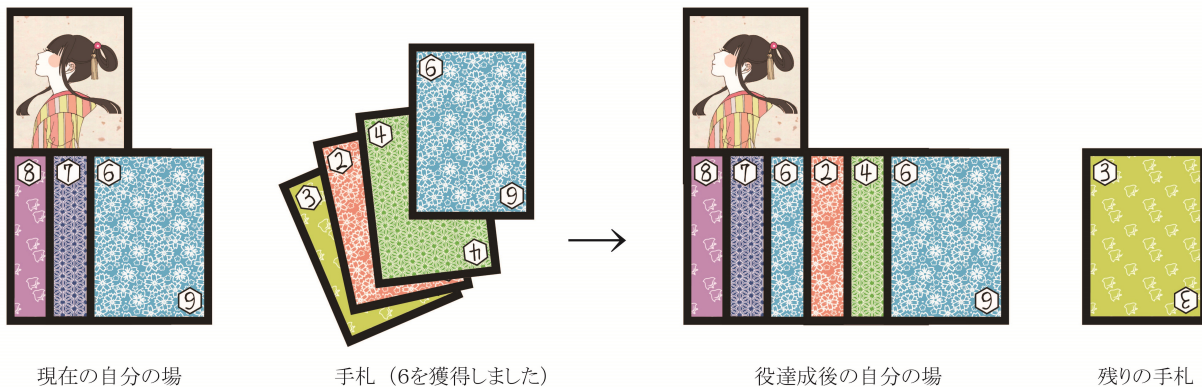


※度の手番で達成できる役は1つだけです。複数達成できる場合は、1つ選んで達成してください(たいていの場合、1番得点が高い役を選ぶことでしょう)。

2回目以降に役を達成するときには、自分の場の1番上にあるカード(1番最後に並べたカード)を次の役にも組み込むことができます(組み込まなくてもかまいません)。

- ・組み込むことができるのは、1番上のカードのみです。
- ・+1カードが1番上にある場合、+1カードを次の役に組み込むことはできません。

例) Bさんは自分の場に876と並べています(6が1番上です)。手札には324(4が1番上です)と持っており、今回の手番で6を獲得しました。自分の場の1番上にある6と、手札の246を使って、「雪月風花」(偶数を並べる役)の4枚を達成することができます。Bさんは246を自分の場の上に並べ、4点を獲得します(今回Bさんは、自分の場の6と、手札の6を使って「襲ね」(同じ数字を並べる役)の2枚の方を達成することもできましたが、点数の高い「雪月風花」の4枚を達成することにしました)。



次ラウンドの準備

各プレイヤーが順番に手番を行っていき、4人プレイなら共通の場のカード枚数が4枚になったら(各プレイヤーが3回の手番を終えたら)、3人プレイなら共通の場のカード枚数が3枚になったら(各プレイヤーが4回の手番を終えたら)、ラウンドが終了します。ラウンド終了時には、共通の場に残っているカードを全て捨て札にし、ひとまとめにして山札の近くに置いておきます(捨て札に何があるのかを見てはいけません)。そして、山札からゲーム開始時の準備と同じように共通の場にカードを並べます。その後、スタートプレイヤーマーカーを左隣のプレイヤーに渡し、そのプレイヤーから次ラウンドの手番を開始します。

最終ラウンド(4人プレイなら4ラウンド目、3人プレイなら3ラウンド目)の準備をするときは、山札だけでは足りないので、捨て札も混ぜてよく切ってから、並べてください。3人プレイの場合は、最終ラウンドの準備後にカードが2枚余りますが、それは捨て札にしてください。

※各ラウンドの区切りは、共通の場に残ったカードの枚数が、プレイヤーの人数と同じ枚数になったら、と覚えておくと判断しやすいです。

ゲームの終了条件

4人プレイならば4ラウンド、3人プレイならば3ラウンドが終了し、全プレイヤーが12回の手番を終了すると、ゲーム終了です。

最終得点計算

ゲームが終了したら、最終得点計算を行います。最終得点計算では、自分の場に8枚以上のカードを並べることでできたプレイヤーは、ゲーム中に獲得した得点に加え、以下の得点が追加されます。

- ・自分の場に並べたカードの色数に応じた得点(下表参照)
- ・12枚全てのカードを並べた場合はさらに追加得点

色数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
得点	5	4	3	2	0	2	3	4	5

得点した分だけ、得点トラックの自分の得点カウンターを進めます。なお、+1カードは枚数には含みますが、色数には含みません。また、12枚全てのカードを並べたプレイヤー(ゲーム終了時に手札を持っていなかったプレイヤー)はさらに2点を獲得します。

例)ゲーム終了時、Cさんは下図のようにカードを並べています。



自分の場



残りの手札

8枚以上のカードを並べているので、追加得点します。並べている色数は8色なので、4点を追加で獲得します(+1カードは色数には含めません!)。もしも手札に残った3のカードも自分の場に並べることができていたら、9色全てを並べているので5点、12枚全てを並べることができたので、さらに追加で2点を獲得することができていました。

勝者の決定

最終得点計算終了後、1番得点カウンターの進んでいたプレイヤーが勝者となります。そのようなプレイヤーが複数いる場合は、自分の場に並べた枚数の多いプレイヤーの勝ちです。それも同じなら、該当するプレイヤー同士で勝利を分かち合います。

役カード一覧・補足

襲ね(かさね)…同じ数字を並べる(22や999など)

拾(じゅう)…カードの数字の合計が10になるように並べる(46や172など)

桜散らし(さくらちらし)…126を順不同で並べる。126や261など、並べ方の順番は問いませんが、611など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

千鳥(ちどり)…389を順不同で並べる。389や938など、並べ方の順番は問いませんが、989など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

麻ノ葉(あさのは)…457を順不同で並べる。457や574など、並べ方の順番は問いませんが、455など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

下弦ノ月(かげんのつき)…1～5を昇順か降順で並べる。124や5321など、間が空いてもかまいません。ただし、2334や422など、同じ数字を使うことはできません。

上弦ノ月(じょうげんのつき)…5～9を昇順か降順で並べる。985や5679など、間が空いてもかまいません。ただし、699や87755など、同じ数字を使うことはできません。

花鳥風月(かちょうふうげつ)…奇数を並べる。奇数のカードであれば、1375や751173など、同じ数字を複数回使用したり、昇順と降順が混ざってもかまいません。

雪月風花(せつげつふうか)…偶数を並べる。偶数のカードであれば、648や84628など、同じ数字を複数回使用したり、昇順と降順が混ざってもかまいません。

- 同じ枚数のマスが2箇所ある役の場合(「襲ね」の2枚と3枚、「拾」の2枚、桜散らし、千鳥、麻ノ葉)は、2回達成することができます。誰かが達成した後でも、もう一度達成することが可能です。赤枠の3種類の役(桜散らし、千鳥、麻ノ葉)の場合、先に達成したプレイヤーが4点を獲得します。後から達成したプレイヤーは3点を獲得します。

ヴァリエントルール

お好みに合わせて取り入れてください。1つ目のルールを採用すると難易度が上がり、2つ目を採用すると難易度が下がります。

- 3人プレイの時に、ゲームの準備が終わったあと、最初の手番の前に、「拾」の2枚のマスに1つ、「襲ね」の2枚のマスにも1つ、おはじきを乗せる。
- +1カードを獲得した手番でも、役を達成できるものとします

2014/5/18 初版発行 2014/6/20 再版発行

製作・発行 桜遊庵 ホームページ 『卓上遊戯創作処 桜遊庵』(<http://ouyuuan.cloud-line.com/>)

イラスト 舟岡 ホームページ 『花競べ』(<http://hanakurabe.com/>)

お問い合わせ等は ouyuuan@gmail.com までお願いいたします。

スペシャルサンクス テストプレイに協力してくださった皆様 そしてこれを読んでくださっている皆様